

血の力

2010年9月19日 アシェル・イントレーター

大贖罪日（ヨム・キプール）の日、大祭司は犠牲の血を持って至聖所に入ります。この日は、私たちのために犠牲として捧げられたメシアの血の重要性を思い起こさせるのです（**ヘブル書 7-10**）。イエシュア（イエス）の血には、十字架上で主の体から流れ出た物理的な血液細胞よりもさらに重要な意味を持っています（**ヨハネ 19:34**）。その血の霊的な力は生きており、現在も語りかけてくるのです（**ヘブル書 12:24**）。

血は契約の有効性と実効性を与えるものです。契約は、神による破られることのない協定なのです。その契約は文字で構成されています。神が人類と結ばれた契約は「旧約聖書」と「新約聖書」両方に書かれています。血は契約を封印し、署名するものです。その方は、契約を結ぶためご自分の命を差し出され、その契約を保証されました。契約提携者の魂は主の血の中にいらっしゃるのです（**レビ記 17:11**）。

神がイスラエルの民と契約を交わされた時、モーセは血の半分を祭壇に注ぎかけ、残りの半分を民に注ぎかけました。

出エジプト記 24:6

モーセはその血の半分を取って、鉢に入れ、残りの半分を祭壇に注ぎかけた。

出エジプト記 24:8

そこで、モーセはその血を取って、民に注ぎかけ、そして言った。「見よ。これは、これらすべてのことばに関して、主があなたがたと結ばれる契約の血である。」

血は契約と民に触れました。契約には祝福と呪いの言葉が含まれています。血がそれらの祝福と呪いに効力を加えるのです。血は民に契約を適用させ、実行させるものです。私たちが契約と贖罪の血を信じるなら、大いなる霊的な力が解き放たれます。

契約には条件と結果があります。条件の条項は血の犠牲を要としています。その結果が祝福と呪いです。私たちが血の契約を信じるならば、呪いは祝福へと変えられるのです。私たちの罪は赦され、私たちの魂は解放され、私たちの体は癒され、私たちの家族は祝福され、私たちの経済は贖われ、悪魔は敗北するのです（**黙示録 12:10-11**）。

多くのクリスチャンは彼らの個人的な救いに関して血の契約の力を知っています。イスラエルの民の歴史の中で、契約は集団的なもので、個人のものだけではなく、国家全体のもので、彼らは共に立ち上がり、倒れるのです。共に祝福され、呪いを受けるのです。イスラエルの民は国家として契約を宣言によって受け取ったのです。

出エジプト記 24:7

そして、契約の書を取り、民に読んで聞かせた。すると、彼らは言った。「主の仰せられたことはみな行ない、聞き従います。」

彼らは、信仰の告白をすることによって自分の言葉で契約を実行に移しました。福音書には、民が契約を有効にする際、まったく間違った方向に行いました。彼らはメシアを拒絶すると宣言し、祝福ではなく、呪いを契約の血によって自身にもたらしめました。

マタイ 27:25

すると、民衆はみな答えて言った。「その人の血は、私たちや子どもたちの上にかかってもいい。」

彼らは集団に及ぼす血の力を解放しました。それが意図した方法ではなく、そのまったくの反対の作用でした。彼らは自身に破壊をもたらし、彼らの国家と次世代にそれが引き継がれました。神殿は荒らされ、国家は破壊され、民は離散しました。

それが意図する方法とは反対の方向に使われた時、もしそれだけの力が血の中にあるならば、もし正しい方法で使われた時、一体どれほどのことが起こるのでしょうか(ローマ書 5:15、11:12)。血の力を反対方向へ持っていくと反対の結果を得ます。イスラエルの民は再び集められ、メシアは受け入れられ、イスラエルの王国が回復します(使徒 1:6)。

血の力が悪に使われた時、私たちの民は諸国に散らされました。血の力が善に使われる時、諸国はエルサレムに集まり、イエシュアの王国に従うのです(イザヤ 2:2-4、ゼカリヤ 14:16)。

終わりの時に、イスラエルにいる信仰のレムナント(残りの人々)たちは、イエシュアの血が自分たちに注がれるように叫びます。それは、破壊のためではなく、回復のためです。レムナントたちの数が臨界点に達した時、リバイバルが発生し、イスラエルのすべての人々が救われるのです(ローマ書 11:26)。

大贖罪日の終わりの方で、長く角笛が吹き鳴らされます(レビ記 25:9-10)。この角笛は終わりの大いなるラッパが携挙と再臨時に鳴らされるものと同じです(1テサロニケ 4:16、1コリント 15:52)。大贖罪日の角笛はしるしです。血が有効となるようレムナントの叫びは力です。レムナントがメシアの再臨をお迎えすることは、前提条件なのです(マタイ 23:37-39)。イエシュアの再臨はその結果なのです。

今週エルサレムで、3つのメシアニック・コングリゲーションは大贖罪日に一致して集まり、祭りを祝います。祈りと断食の日の後、私たちは共に信仰を持って叫びます。「主の血潮を私たちの上に、そして私たちの子どもたちの上に、そして私たちの国の上に。」そして、「主の御名によって来られる方

に、祝福あれ。イエシュア、イスラエルの王よ」そして私たちは最後の大いなるラツパを吹き鳴らしました。

どうか、呪いが反転するよう信仰を持って、そして、血の力がイスラエル、教会そして諸国に対する神のご計画が成されますよう、私たちと共に立って下さい。